

医系科学研究科 神経薬理学研究室へようこそ！！



神経薬理学研究室では、様々な精神・神経疾患の病態を理解し、治療法を開発することを目的に、次のような研究に取り組んでいます。

・タンパク質リン酸化酵素C (PKC)に関する研究

静脈麻酔薬のプロポフォール作用発揮におけるPKCの役割を探る

・ミクログリアの働き

様々な神経疾患の発症に関わるミクログリアの基本的性質に迫る。

・Gタンパク質共役受容体GPR3の機能と疾患との関わり

神経細胞の伸長・生存に関与するGPR3を解析し、脳梗塞・多発性硬化症の治療につなげる

・セロトントランスポーター (SERT) の機能解析

抗うつ薬の作用点SERTの機能調節機構を解析し、うつ病、過敏性腸症候群の治療につなげる

・神経変性疾患治療薬のスクリーニングと開発

興味を持たれた方は、是非ホームページをご覧ください
(連絡先 教授 酒井規雄 nsakai@hiroshima-u.ac.jp)